

# 経営拡大タイプの栽培モデル（トマト養液栽培）

高軒高ハウスの特徴を生かしハイワイヤー誘引による長期どり作型で増収を目指すタイプです。ロックウールによる養液耕栽培の経営モデルです。

1棟15aのハウスに機器等を導入することを前提として10aあたりの経済性を試算しています。

## 経営モデルの前提

経営規模	60a (15a × 4棟)
労働力	家族労働 2.5人 + 雇用
作型	長期多段取り栽培
	8月定植
目標収量	30t / 10a
目標平均単価	300円
目標糖度	5~6度



高軒高ハウス



高所作業風景

## 経済性試算（10aあたり）

収量	30,000	kg
単価	300	円/kg
粗収入	900	万円
経営費	718	万円
農業所得	182	万円
所得率	20	%
(経営費内訳)		金額 (万円)
種苗費		31
肥料費		7
農薬費		9
諸材料費		16
施設・機械費*		319
内 環境制御関連		51
光熱水費		149
雇人費		39
出荷経費		148

\*施設・機械の減価償却費、修繕費等。  
なお、減価償却済みの施設や機械を使用している場合は実態に応じて計算する。

### <環境制御のポイント>

- ・統合環境制御機器により温湿度、CO<sub>2</sub>濃度、給液を管理する。
- ・高軒高ハウスの特徴として、冬期は乾燥しやすいため、ミスト発生機で湿度を維持する。また、高温期はミストにより温度を下げる。
- ・転流を促すために、必要な時期は午後は高めの温度管理とする。
- ・日射量に応じた葉枚数管理を行う。

### <品種>

- ・黄化葉巻病のリスクが高いため、耐病性品種が望ましい。
- ・草勢が維持できる多収性の品種を選定する。
- ・桃太郎ホープ、麗妃、みそら109等

環境制御に係る主要な施設・機器装備	取得価格 (万円)	年あたり償却額 (万円)
統合環境制御機器	265	38.0
ミスト発生装置	221	31.6
CO <sub>2</sub> 発生装置	50	7.1
<b>合計</b>	<b>536</b>	<b>76.7</b>

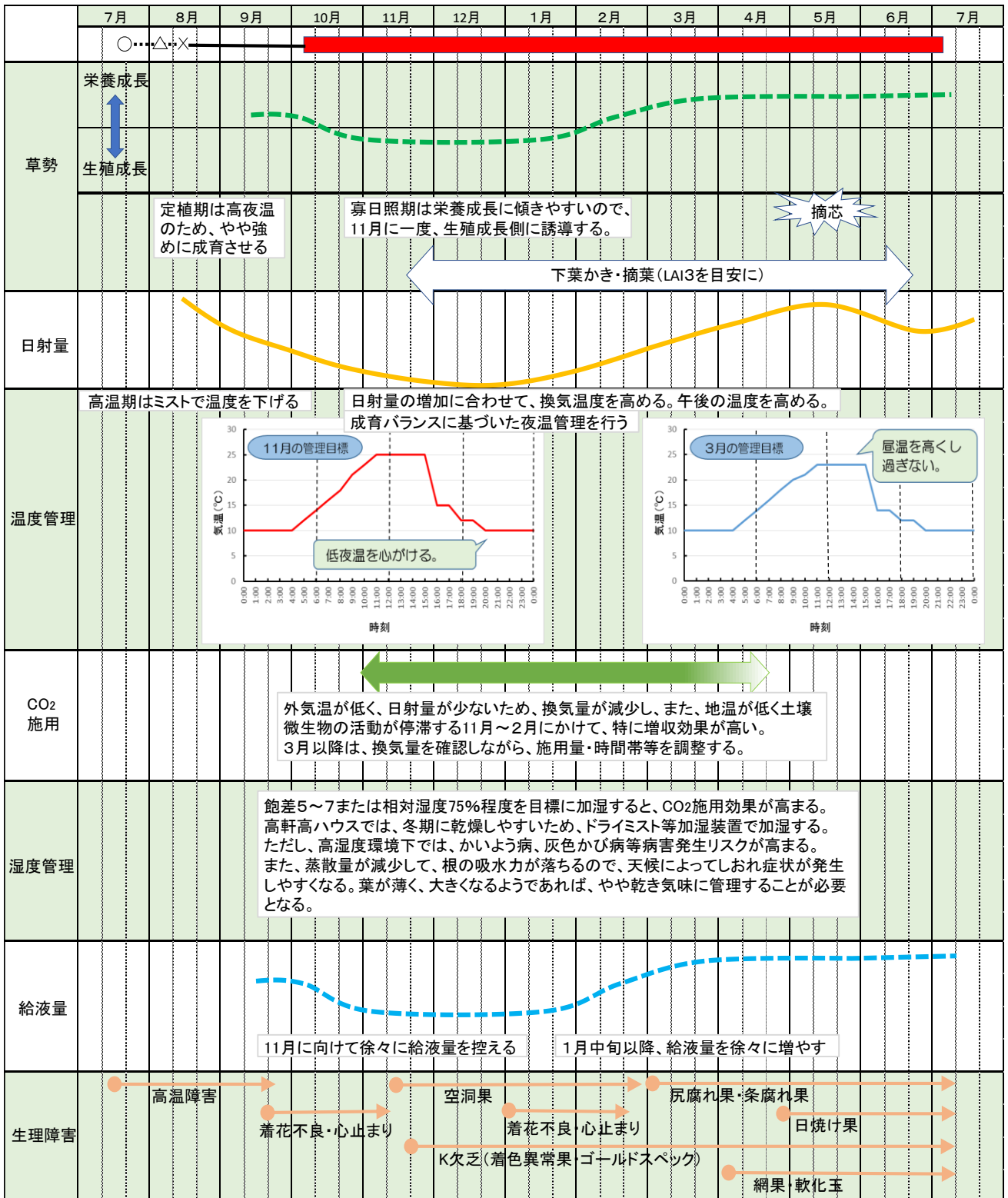
施設面積15aの場合。設置費用等含む税込み価格。

### <試算の前提条件>

- ・ロックウール栽培、1棟15aの施設で栽培するとした場合の10aあたりの試算。
- ・苗は購入苗とした。2,400本/10a
- ・雇人費は時給983円、市場出荷（個人）市場手数料8.5%とした。

# 経営拡大タイプの栽培モデル（トマト養液栽培）

（作型：7月まき、10～7月収穫、25段どり） 目標収量30 t /10a



参考資料：最新農業技術 野菜vol. 8、同vol.9 農文協  
 トマトの長期多段どり栽培 吉田 剛、農文協 他